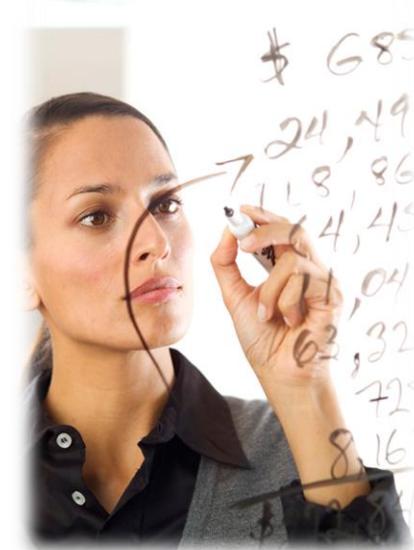


# 思考力強化研修 – potential of thinking

3つのシンプルな要素で構成した「自ら考えるモデル」を身につける!!  
 多くの経営者たちが言っています。このようなことができる「右腕となる」スタッフが欲しい...と。

この研修の主たる目的は、「社員が自分で考える力」を鍛えることです。  
 この「考える」モデルを社員ができるようになると、「自ら行動するようになる!」「報告や説明がわかりやすくなる!」  
 「チームや組織での議論や取り組みが変わる!」効果があります。



今求められている社員は「自分で考え取り組める社員」です。経営者やマネージャーは社員に「自分で考えろ!」と言っています。そう言われた社員は「自分で考えろ!」といわれてもどう考えれば良いか?」わかっていないことが多いです。

誰かに「考えろ!」ってどういうことでしょうか?」と聞いても「なぜ?」を何回も繰り返すんだ」「本を読め!」「そういうことを自分考えろ!」という抽象的な回答が多いです。「考えろ!」ってどういうことなのか、それが明確になっていません。

私たちは、企業様の次世代リーダー育成のお手伝いをしていますが、そのプログラムを通じて、「自分で考えられる人」と「自分で考えられない人」には「考える」に基本的な違いがあることがわかりました。世の中一般的に言われるロジカルシンキングとは違い、シンプル、かつ、本質的な「考える」モデルです。「客観的」「広い視野」「構造的」「未来などめざす姿を明確」「説明(プレゼンテーション)が分かりやすい」思考です。

この「考える」モデルの3つの基礎的な要素は、「何を変える!」「何に変える!」「どう変える!」です。シンプルですが、強力な思考のモデルです。

「考える」を育むことは、筋肉強化と全く同様です。具体的な方法を学び、そして、毎日繰り返すことで、「考える」ための柔軟な「脳の筋肉」を強化することができます。

この3つの要素を発展し、「客観的に考える」「幅広く考える」「構造化して考える」を体験しながら、研修は進んでいきます。

何を考える!

何に変える!

どう変える!

この研修の対象者は全ての社員ですが、特に若い社員がこの「考える」モデルを学び、このモデルを活用して思考・行動・報告・発表を日頃繰り返し実践させることが重要です。まずは、社員がこの思考モデルができるようになること、そして、組織としてこの「考える」モデルができるようになると、企業の成長を格段に加速することができます。

## 研修カリキュラム

Step1	「考える」モデル(「何を変える!」「何に変える!」「どう変える!」)の基礎を学びます。
Step2	「考える」モデルを、目標設定まで高めて体験し、学びます。
Step3	「考える」モデルを、原因分析や実施プラン策定まで高めて体験し、学びます。

演習・発表が多いワークショップ型の研修です。最大人数20名です。  
 Step1-3までの研修時間は9:00 – 17:00です。演習で扱うテーマを貴社のご要望に合わせて取り組むことも可能です。

### この「考える」モデルの応用範囲

プロジェクト立案 経営分析 ビジョン作成 目標設定 情報共有化 報告書 議事録 プレゼンテーション ミーティング 問題解決 ファシリテーション 育成・指導	事業計画 戦略策定 意思決定 イノベーション 相手の課題の整理 稟議書 セールス 討議・議論 チームワーク 課題への取り組み マネジメント
--	---

社員が上記のことが「できていない!」と思われる場合、「考える」モデルができていないことが多いです。